

地元食材でスムージー



オリジナルのスムージーを販売する
八戸学院大の学生（右）

八学大生と市が開発 中心街で販売、評判上々



八戸産リンゴとミニトマト、
ブロッコリースプラウトを使
った「はちがくスムージーn
eo」

八戸

地域創生に関する研究
を行う八戸学院大地域経
営学部の学生と八戸市は
27日、同市のはっちで、
地元食材で開発した「は
ちがくスムージーne
o」50杯を限定販売した。

八戸産のリンゴとミニト
マト、ブロッコリースプ
ラウトを使って舌触り良
く仕上げ、市民からの評
判も上々。学生は「八戸
の活性化につながる活動
を今後も考えたい」と意
欲を示した。

高めることや、市中心街
の集客促進などを目的と
した。

材料の一部には着色不
良といった規格外品を使
用。1杯300円で販売
し、中心街に関するアン
ケートに回答した人は2
00円に割引した。

販売は地域経営学科の
井上丹准教授のゼミに所
属する、島倉有希斗さん
(21)、佐々木諒さん(22)、
戸館臨さん(22)もいずれ
も4年IIが担当。

3人は「地元食材のお
いしさを伝えよう」とだ
わって商品開発した「後
輩が八戸の魅力PR活動
ができるよう、アンケー
トをまとめていきたい」
と話した。

(佐々木祐紀)